



2026年度

ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例公募表彰

申請期間：2025年12月8日(月)～2026年3月10日(火)



一般財団法人
ヒートポンプ・蓄熱センター

2026年度「ヒートポンプ・蓄熱システム 運転管理等の改善事例」

公募のお知らせ

気候変動問題に関する世界的な関心が高まる中、我が国は2050年度までのカーボンニュートラル実現への挑戦を背景に、2035年度、2040年度の温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減することを目指すことを新たに表明しました。

こうした大幅な温室効果ガス削減目標を達成するためには、様々な省エネルギー対策に加え、電化の推進や未利用エネルギー、再生可能エネルギーの活用が必須であり、ヒートポンプ・蓄熱システムはその受け皿として適しています。

ヒートポンプ・蓄熱システムは、電力需要の少ない時間帯に貯めた熱を、少ない損失で、必要な時間帯に使うことを可能とし、また、熱の生産と需要側の消費をずらすことができるため、システム全体の高効率運転を実現できます。加えて、特に近年では再生可能エネルギーの「自然環境に応じて出力が変動する」という特徴に対して電気の需要の最適化機能を有している等、蓄エネ、省エネに関して様々な機能・性能がある一方で、十分な性能を発揮するためには、日々の運転管理等が重要であり、最適な状態で維持・運用されることが必須となります。

このような情勢を鑑み、当センターでは、運転管理に携わる方々への更なる啓発を促すとともに、省エネルギー性、環境性、経済性に優れたヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進を目的として、ヒートポンプ・蓄熱システムの運転改善事例、ピーク電力削減等の対応事例および未利用エネルギーを活用したヒートポンプシステムの運用改善事例を広く募集し、表彰しています。

皆さまからの多数のご応募を心よりお待ちしております。

申請期間：2025年12月8日(月)～2026年3月10日(火)

送付先／問い合わせ先

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム事務局
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-28-5 ヒューリック蛎殻町ビル6階
Tel : 03-5643-2403 Fax : 03-5641-4501

募集対象

電気の需要の最適化や省エネ・環境性に優れた「ヒートポンプ」または「ヒートポンプ蓄熱システム」（以下、「ヒートポンプ・蓄熱システム」という）における運転管理・運用改善やそれに伴う設備の改良（ただし、高効率機器への設備更新のみは対象外）により効果（CO₂排出量削減、省エネルギー、電気の需要の最適化〔D Rなど〕等）があった以下の事例とし、検証に足るデータで、その効果が確認できるものとします。

※ヒートポンプは圧縮式とします。

1. 目標性能（CO₂排出量削減、省エネルギー、電気の需要の最適化〔D Rなど〕等）を発揮するために、運転管理・運用で創意工夫された事例
2. 制御方法など運転管理・運用手法等の改善で効果があつた事例
3. 運転管理・運用に関して新規性、創造性等のある事例
4. ヒートポンプ・蓄熱システムの改修・工夫により効果があつた事例
5. 水平展開や応用が期待できる事例
6. 未利用エネルギーを活用したヒートポンプ・蓄熱システムの改修・工夫により効果があつた事例
7. ピーク電力削減に効果があつた運用事例
8. ワークスタイルの変化や製造プロセスの変更による空調・給湯需要等の大幅な増減に対して効率的に運転し、効果があつた事例
9. ヒートポンプ・蓄熱システムの運用にITやAI技術などを活用し、効果があつた事例
10. ヒートポンプ・蓄熱システムを非常災害時に対応（トイレなどの生活用水や火災時の消防用水など）した事例

審査の前提として、データの収集や原因調査が無いもの、すなわち従前の知見に基づかない高効率機器への入れ替え（更新）、あるいは、設備機器または補機類単体の不具合改修などは対象外とします。

補足：

- (1) 本募集要項では、未利用エネルギーとは、工場排熱、地下鉄や地下街の冷暖房排熱、外気温との温度差がある地下熱、河川水や下水など、有効に利用できる可能性があるにもかかわらずこれまで利用されてこなかったエネルギーとします。
- (2) 対象とするヒートポンプとは、電動圧縮機、凝縮器、膨張弁および蒸発器で構成され、冷媒の状態変化を用いて熱を移動させるもので、冷水、温水、冷温水、蒸気などを製造するものとします。
- (3) 部分的、小規模なものも含め、ヒートポンプ・蓄熱システムの利用用途、および施設の竣工時期は問いません。
- (4) 受賞された事例は、受賞内容を広くPRさせていただきます。また、当センターが2026年7月（予定）に主催するシンポジウムでの発表をお願いすることがあります。

応募申請

(1) **申請資格**：運転管理等の改善にかかわった個人またはグループとします。ただし、下記に該当する個人またはグループは応募資格を有しません。

- ① 指定暴力団やその関係組織などの反社会的勢力に関する個人、団体。
- ② 組織的行為によりトラブルの多発などが社会問題化している団体。
- ③ 組織的な不正行為が行われ、再発防止措置等が完了したとみなされない団体。
- ④ 禁固刑以上の刑が確定している個人。

(2) **申請者**：申請は、改善に携わった方（申請者）と、当該設備オーナーの共同申請としてください。

(3) **申請方法**：当センターが指定する様式に基づき申請書を作成し、当センターに1部提出していただきます。申請書は、当センターホームページからダウンロードしていただくか、事務局へ請求ください。書類の提出は郵送、持参どちらでも結構です。郵送の場合は簡易書留とし、封筒に「運転改善事例申請書類在中」と記入してください。申請費用は無料ですが、申請書類は返却致しません。

※「申請書類記入例と注意事項」を当センターのホームページに掲載していますので、ご参考にしてください。

(4) **申請条件**：受賞した事例は、受賞内容を広くPRさせていただきますので、改善事例についての新たな紹介資料の作成をお願いすることができます。また当センターが主催するシンポジウムでの発表をお願いすることもあります。

(5) **申請期間**：2025年12月8日(月)～2026年3月10日(火)

審査の方法

学識経験者などで構成する「審査委員会」において厳正に審査します。審査にあたり、必要な場合には、追加資料の提出のお願い、ヒアリングや現地調査等を行うことがあります。審査結果は当センターのホームページに掲載します。

表彰

審査の結果、特に優秀と認められた改善事例について、

○最優秀賞：30万円 ○優秀賞：20万円 ○奨励賞：10万円 ○努力賞：5万円の奨励金を表彰と共に授与いたします(※)。なお、各賞とも該当が無い場合もあります。表彰は、2026年7月に予定しています当センターが主催するシンポジウム当日に行います。

※奨励金につきまして、表彰式では目録を授与、別途ご指定の口座にお振込みとさせていただきます。

そ の 他

(1) 過去の入選事例の優秀受賞例は、『センターホームページ』の『出版物・統計データ』にある『蓄熱情報誌 COOL&HOT バックナンバー一覧』をご参照ください。

https://www.hptcj.or.jp/download/cool_and_hot/

(2) 虚偽の申請など本表彰の目的を損なうような行為があった場合は、当該申請を無効とします。

(3) 応募申請書はホームページからダウンロード

https://www.hptcj.or.jp/information/entry/20251208_002876.html



(4) 『蓄熱情報誌 COOL&HOT バックナンバー』ご参照の二次元バーコードはこちら



応募申請書

「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」

年　月　日

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

理事長 小宮山 宏 殿

共同 申請者	改善に携わった方	会社名/個人名等
		代表者名 (会社等で応募の場合)
		印
	改善に携わった方	住所
		会社名/個人名等
		代表者名 (会社等で応募の場合)
	設備オーナー	印
		住所
		会社名/個人名等
代表者名 (会社等で応募の場合)		
印		
住所		

注)申請者は設備オーナーとの共同申請とします。申請者が多い場合は、適宜欄を増やして下さい。

建物名、または、物件名「_____」

改善事例名「_____」

以下の事例の中から該当する番号に○印をつけてください※複数選択可

1. 目標性能(CO₂排出量削減、省エネルギー、電気の需要の最適化[DRなど]等)を発揮するために、運転管理・運用で創意工夫された事例
2. 制御方法など運転管理・運用手法等の改善で効果があった事例
3. 運転管理・運用に関して新規性、創造性等のある事例
4. ヒートポンプ・蓄熱システムの改修・工夫により効果があった事例
5. 水平展開や応用が期待できる事例
6. 未利用エネルギーを活用したヒートポンプ・蓄熱システムの改修・工夫により効果があった事例
7. ピーク電力削減に効果があった運用事例
8. ワークスタイルの変化や製造プロセスの変更による空調・給湯需要等の大幅な増減に対して、効率的に運転し、効果があった事例
9. ヒートポンプ・蓄熱システムの運用にITやAI技術などを活用し、効果があった事例
10. ヒートポンプ・蓄熱システムを非常災害時に対応(トイレなどの生活用水や火災時の消防用水など)した事例

その他「_____」

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター受付

事務局	受付年月日	年　月　日
	分類番号	

(この欄は申請者記入不要)

受賞対象者

連絡担当者 ↓

改善に携 わった方	会社名	
	会社概要 (業種、事業内容等)	
	担当者所属の部署	
	役職	
	担当者名(フリガナ)	
	所属部署の住所	〒
	TEL	
	FAX	
E-mail		

改善に携 わった方	会社名	
	会社概要 (業種、事業内容等)	
	担当者所属の部署	
	役職	
	担当者名(フリガナ)	
	所属部署の住所	〒
	TEL	
	FAX	
E-mail		

設備 オーナー	会社名	
	会社概要 (業種、事業内容等)	
	担当者所属の部署	
	役職	
	担当者名(フリガナ)	
	所属部署の住所	〒
	TEL	
	FAX	
E-mail		

注)申請書に関して、事務局より連絡させていただくことがあります。

ご連絡させていただく方、一名さまの連絡担当者欄に○印をご記入ください。

（以下の各項目について記入して下さい。なお、本書式に書ききれない場合は自由に記入欄を増やしていただかずか、別紙に記載願います。記載内容等でご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせ下さい。）

1. 評価して貰いたいポイント(要点、400字程度を目安に)

（創意工夫した点、苦心した点、従来との相違点、改善を行った理由・原因などを時系列がわかるように記入）

2. 建物の概要、空調設備の概要、ヒートポンプ・蓄熱システムまたは未利用エネルギーを活用した圧縮式ヒートポンプシステムの概要

〈設備／機器 仕様・系統図〉



＜改善点の説明＞

3. 改善の効果

以下の評価項目を参考に、改善効果に該当する項目（複数選択可）を選択し、出来る限り数値的表現にて記述する。

【評価項目の例】

1. エネルギー効率性(改善前後の対比)
 - ① システムCOP、および、システムCOP改善率など
 - ② 入力エネルギー削減量および削減率(年間、あるいは、代表日) など
 2. 経済性
 - ① ランニングコスト(エネルギーコスト、運転管理コスト等)低減率 など
 3. 環境保全性(CO_2 、 NOx 、 SOx 排出削減量など)
 - ① 設備における1年間の排出削減量($\text{kg}/\text{年}\text{m}^3$)
 - ② 定格稼働日(ピーク期間の1日)の排出削減量($\text{kg}/\text{日 RT}$) など
 4. ヒートポンプ・蓄熱システムの運用によるピーク電力削減の効果が実績に基づき明確に提示できるもの、他事例への水平展開の容易なもの、など
 5. ヒートポンプ・蓄熱システムをディマンド・リスポンス、レジリエンスなどに活用し、得られた効果
 6. 災害時に熱利用や、蓄熱槽内の水を有効活用した効果
 7. 上記以外の評価項目

4. 設備オーナーの意見

5. その他

- ①特許・実用新案・意匠に関する権利等の取得状況(国内、国外を問わず取得済みおよび申請中のもの)

- ## ②文献等の発表状況(文献名、発表年月日等)
